2023　年度 授業計画（シラバス）

| 学　　科 | スポーツ科学科 | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科 目 名 | テーピングⅡ | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30　(1)　時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年生 | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | |
| 担 当 教 員 | 中山　広基 | 実務経験とその関連資格 | 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、はり師・きゅう師　社会人ハンドボールチームHC彦根ヘッドトレーナー3年/滋賀県成年男子ハンドボール代表チームヘッドトレーナー3年　日本プライベートフットボールリーグ帯同トレーナー8年（アメリカンフットボール） | | |

《授業科目における学習内容》

アスレティックトレーナー教本をもとに、膝関節、肘関節、アキレス腱、肩関節、足部のテーピング方法を実技形式で学習する。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験：70％
2. 出席率：20％
3. 小テスト：10％

《使用教材（教科書）及び参考図書》

アスレティックトレーナー専門科目テキスト　予防とコンディショニング

《授業外における学習方法》

指定している教科書を事前に読んでおくこと。
授業内に小テストを行うことがあるため予習復習をしておくこと（不定期）

《履修に当たっての留意点》

トレーナーとしての基礎知識を身につけて人々の心も体もサポート出来るようになってください。
自分のための勉強が、将来の患者さんや選手、クライアントのためになることを忘れないように。

| 授業の方法 | | | 内　　容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 足関節の基本テーピングをおさらいし、今期の学習内容に活かされていることを確認する。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 前期復習（足関節AT巻、ST巻、底屈制限、背屈制限） | | |
| 第2回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 膝関節MCL損傷（AT用） | | |
| 第3回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 膝関節MCL損傷(ST用) | | |
| 第4回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 膝関節ACL損傷 | | |
| 第5回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肘関節MCL損傷、肘関節過伸展制限 | | |

| 授業の方法 | | 内　　容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第6回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肩鎖関節捻挫 | | |
| 第7回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肩関節前方脱臼 | | |
| 第8回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肋軟関節分離・アキレス腱損傷 | | |
| 第9回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アキレス腱損傷 | | |
| 第10回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肉離れ、アーチ低下 | | |
| 第11回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 指のサポートテーピング | | |
| 第12回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 特殊な巻き方 | | |
| 第13回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | まとめ | | |
| 第14回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | まとめ | | |
| 第15回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 学習の習熟度を確認することが出来る。 | 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー公認テキスト第6巻 | 授業範囲を把握<br>必要用語を学習し<br>用語集の作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | まとめ | | |